

ハートにビート。

ファッショニパッション。

ドリーム・カム・トゥルー。



すべてを

that
you
do!

トム・ハンクス監督作品

あなたに

20世紀フォックス映画提供 クリニカ・エステティコ・カダクション
クラビアス・ベイス提携 トム・ハンクス監修 「すべてをあなたに」

トム・エバレット・スコット リブ・タイラー ジョナサン・シャーチ スティーブ・サーン イーサン・エンブリー and トム・ハンクス 音楽 ハワード・ショア

衣装デザイナー コリーン・アットウッド 編集 リチャード・チュウ プロダクション・デザイナー ヴィクター・ケンブスター 撮影 タク・フジモト

製作 ゲリー・ゴーツマン ジョナサン・テミ エドワード・サクリン 脚本 トム・ハンクス

DOLBY
INTELLIGENT IMAGING

サントラ盤: EPIC ソニーレコード

20世紀
FOX FILM CORPORATION

©1996 Twentieth Century Fox

アメリカのマスコミは絶賛に湧きクリーン・ヒットになったトム・ハンクスの話題作がやってくる。

1964年……前年暗殺されたJFKに替わり、リンドン・ジョンソンが大統領に就任した年、マーティン・ルーサー・キングら、黒人の悲願だった公民権法の成立、ベトナム戦争の激化、東海道新幹線の開通、東京オリンピックの開幕。そして、ビートルズを始めとするブリティッシュ・ビート・グループ旋風がアメリカに上陸した年/

「もう最高にワンダフル！」 (ニューヨーク・ポスト紙)

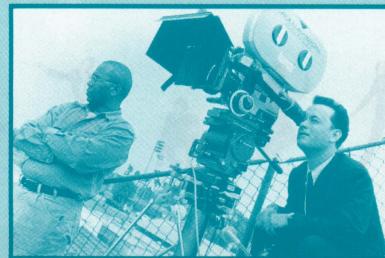


64年、ビートルズの28曲のシングルは全米ヒットチャート入りし、そのうちの6曲が第1位に輝いた。続く、ディープ・クラーク・ファイフ、ローリング・ストーンズ、キンクスといったブリティッシュ・ビート・グループの曲も、ヒットチャートを脇わし、アメリカのショービズ界はまさにイギリスさまざま。

となると、「ぼくらもビートルズになりたい」というわけで、アメリカのあちこちには「バンドやろうぜ！」少年たちが現れるのも当然。「フィラデルフィア」「フレスト・ガング／一期一会」で2年連続アカデミー賞主演男優賞を受賞し、いまももっともイケてる男優トム・ハンクスの初監督・脚本作品「すべてをあなたに」は、1964年のアメリカを舞台に、「ぼくらもビートルズになりたい」と気合いの入るガイとレニーとジミーと「ベースプレイヤー」という4人の男の子と、ジミーの恋人でバンドのスタイリスト的な存在のフェイの青春グラフィティを描いている。

ガイたち4人は、「ザ・ワンダーズ」というバンドを結成。ビートルズおよびブリティッシュ・サウンドのおいしい部分を凝縮した曲「ザット・シング・ユー・ドウ」を自主製作する。この曲が地元ベンシルバニア州のラジオ局で放送されるや、話題を呼び、「ブレイテン・レコード」のヤリ手社員ホワイトの目に止まる。ホワイトのアドバイスが功を奏し、ザ・ワンダーズはツアーチ、全米チャート入り、B級映画出演、そして、全米TV放送という成功の道を歩む。しかし、好事多々。女性関係のトラブル、うぬぼれ、友情のもつれなどから、バンドの行方はトホホの結果に……。

文句がつけようがないくらいステキ。
脚本家=監督としてトム・ハンクスは
センスあふれるシャレたデビューを飾った
(ロサンゼルス・タイムズ紙)



架空のバンド“ザ・ワンダーズ”は、いわゆるヒット曲の“一発屋”だ。しかし、彼らの一瞬の成功には、情熱と愛と信頼と反目と創造、そして限りない夢が詰まっている。監督トム・ハンクスは、“一発屋”的たどる悲喜劇を、当時のアメリカのショービズ界をリアルに再現しつつ、たっぷりのユーモアとやさしさと日常的なエピソードで描いている。

また、“ビートルズになりたい若者たち”的純粋な夢と彼らのうつろいやすい感性を通じて、アメリカの国自体がイノセントさを持っていた最後の年という1964年の時代感覚も鮮やかに描き出している。これはハンクスの本音が明かされた、彼自身のもっともこだわる時代との“一期一会”なのだ。

そして、ハンクスは、彼のベストワン映画だという「ビートルズがやって来る ヤア/ヤア/ヤア/」や、当時流行したノーテンキなビーチ青春映画、TVショーなどのパロディ的な要素を盛り込んでオシャレさを演出している。さらに、驚きはハンクス自身も挿入曲を手がけていること。ビートルズ、シューピーリームス、サーフ・サウンドなど、当時のヒット曲のティストを、リアで再現しているところに、ハンクスのマニアぶりが光っている。



出演は、ジミー役に「尼僧の恋」「キルトに綴る愛」の美形スター、ジョナサン・シーア。レニー役に「リ・アリティ・バイツ」のスティーブ・ザーン、ハンクスの分身的な役でもあるガイ役は、TV出身で“ハンクス己世”になる可能性を見せるトム・エベレット・スコット。“ベース・プレイヤー”役に「白い嵐」で好演したイーサン・エイブリー。

フェイ役は「魅せられて」や日本のTV・CMでもおなじみのリップ・タイラーが扮し、エキセントリックな個性を輝かせている。

これらの若手の俳優の好演が、64年という時代設定を越えて、90年代の若者像も感情移入ができるキャラクターになっているのも見逃せないところだ。

ほかに、トム・ハンクス夫人でもある「ジングル・オール・ザ・ウェイ」のリタ・ウィルソン、「ユージアル・サスペクツ」のケビン・ボラック、そしてハンクス自身はビートルズのマネージャーだったブライアン・エブスタインを連想させるホワイト役で出演もしている。



製作は、「羊たちの沈黙」でアカデミー賞作品賞、監督賞など5部門を獲得し、「フラデルフィア」でハンクスにアカデミー主演男優賞をもたらした名匠ジョナサン・デミ。

音楽は、ディビッド・クローネンバーグ作品の常連映画音楽作曲家であり、ブルース・ブラースのアドバイザー役でもあったハワード・ショアが担当している。

「すべてをあなたに」は、まさにハンクス自身の“青春のお宝”を全てイッキに公開した映画なのだ。その“お宝”はポップでパッションでキュートでハートフルでピュアでドリーミー／だから、64年のことを知っている人も知らない人も、共有できてしまうのがウレしいのである。

♪♪スタッフ♪♪

監督・脚本…………トム・ハンクス
製作……………ゲリー・ゴーツマン
ジョナサン・デミ
撮影……………タク・フジモト
編集……………リチャード・チュウ
音楽……………ハワード・ショア

♪キャスト♪

ガイ・バターソン ……トム・エベレット・スコット
フェイ・ドーラン ……リップ・タイラー
ジミー ……ジョナサン・シーア
レニー ……スティーブ・ザーン
ミスター・ホワイト ……トム・ハンクス

2月15日(土)ロードショー！

★特別鑑賞券発売中！(一般¥1600/ペア券¥3000)

中央口・三越ウラ

新宿武蔵野館

03(3354)5670

ウィリアム・シェークスピアの

レオナルド・ディカプリオ クレア・テーンズ

ロミオ+ジュリエット

最も偉大な永遠の愛の物語。

ROMEO+JULIET

1997年4月中旬 日比谷映画他全国ロードショー

